



RS ウイルス感染症

毎年、秋頃から始まり冬に流行していた RS ウイルスですが、最近は夏～春頃まで流行するように変化してきています。

一度治ってもその後何度も感染するので、2歳までにはほとんど全ての子どもが感染するとされています。感染力が強いため、保育園や幼稚園などでの流行に注意が必要です。

😊 RS ウイルス感染症とは

RS ウイルスの感染による呼吸器の感染症です。

鼻水・咳・発熱など風邪と同じような症状がでます。年長児は熱が出ないこともあります。ほとんどは数日で軽快しますが、時折咳が悪化し「ゼーゼー、ヒューヒュー」と息をしたり、呼吸困難になったりすることもあります。特に初めて感染する場合は重症化するリスクが高く、肺炎や細気管支炎などになってしまうことがあります。しかし、3歳以上の幼児は軽症で済むことが多いため、RS ウイルスに感染していることに気づかずに周りにウイルスを広めてしまうことが多くなっています。

😊 感染経路

潜伏期間⇒2～8日(主に4～6日)

飛沫感染 感染者の咳やくしゃみから感染する

接触感染 感染者が直接接触したものを介して感染する



今年は特に RS ウイルス感染者が増加しています

手洗い・うがい

食事前や外出後、鼻をかんだ後など、こまめに手洗い・うがいをする(タオルや洗面器などの共用は避ける)
消毒用アルコールで手を消毒するのも効果的です



マスク

咳やくしゃみの飛沫が他の人にかからないように、鼻と口をしっかりとおおう



消毒

身の回りの物(ドアノブや手すり、おもちゃなど)を消毒する
⇒消毒用アルコール・次亜塩素酸ナトリウムなど

